

江田島バス株式会社の経営状況説明書

平成 25 年 12 月

江田島市

○第26期(平成24年10月1日～平成25年9月30日)江田島バス  
事業報告について

第 26 期

事 業 報 告 書

( 平成24年10月1日から  
平成25年9月30日まで )



江 田 島 バ ス 株 式 会 社

# 事業報告

( 平成24年10月1日から  
平成25年9月30日まで )

## 1. 事業の状況

### 1) 営業の経過及び成果

2011年(H23年)3月11日の東日本大震災後は日本だけでなく国際情勢も含めて  
そうそうあるものではないことが地球のあちこちで発生しています。

ユーロ圏では、ギリシャ・スペイン・イタリアなどギリギリのところにお追込まれており  
中東地区では、エジプト・シリアに続きレバノン・サウジ・イランへと混乱と内紛が心配  
されています。国内においても2012・12・17 第46回衆院選挙、2013・7・21  
第23回参院選挙で政権が交代し、ねじれも解消されました。

不安定な国際情勢と絡みながら消費税増税が国民の生活に不安を増幅させており  
期待を裏切らない政治が望まれるところです。

こうした中で、中東の政治不安から来る燃料の軽油価格は高止まり傾向が続いてい  
ます。加えて消費税が5%からH26年4月から8% 更にはH27年10月から10%に増  
税される場合の運賃改正への対応の問題があります。路線バス運行の使命からも消  
費税増税による運賃改正は経営の有利性よりも市民は、益々バス利用から離れて行く  
ことが懸念されます。そのことは、現行の運賃収入が年5%減で推移している状況か  
らも予測されるところです。江田島市の地域によっては、路線バスから予約乗合タクシ  
ーへの切り替えによる財政の合理化が図られていますが、有効的な市民への定着には  
至っていないようです。

生活交通の手段あるいは小中学校の統廃合による通学手段などバスを必要とされる  
方のために路線バスや予約乗合タクシーには使命があるものと考えています。

貸切バスにつきましては、お客様のバス活用は江田島市内に限らず他社との連携など  
も含め幅広く活動した結果、収支全体では本年度は会社創立以来はじめて法人税を中  
間(申告)納税いたしました。今後の自動車事業運営において安全運行は必須条件で  
あり社内安全教育など不断の努力を惜しみません。加えて、安全運行の精度向上と  
お客様へのサービス向上、そして責任ある運行のためドライブレコーダの導入をいたしま

した。継続して、企業理念でもある市民の生活に役立つ交通手段として持続可能性に取り組んでまいります。また、市の財政負担軽減につながるよう努力してまいります。

株主の皆様方におかれましては、今後とも一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

#### 売上高の明細

区 分	金 額(円)	構成比 (%)
普通運賃	37,867,676	33.66
定期券運賃	24,091,990	21.42
回数券	12,682,141	11.27
貸切(一般)	11,776,420	10.47
スクールバス	25,609,500	22.77
広告料	460,000	0.41
合 計	112,487,727	100

#### 2) 設備投資等の状況(第26期の主な経費として記載)

NO	項 目	金 額	記 事
1	場内駐車場整備	367,500	アスファルト舗装
2	タイヤ	527,415	16本
3	001号車修理	183,676	クラッチ修理
4	株式購入	880,000	芸備商船(株)破綻譲受
5	株式購入税理士報酬	210,000	株購入手続等
6	健康診断	183,960	24名分
7	乗込調査	735,000	申請用等
8	期末一時金	3,056,966	健康保険・厚生年金含む
9	大型車(広電中古車)	1,427,940	車内機器、保険含む
10	ドライブレコーダ	5,103,000	路線14台分
	合 計	12,675,457	

### 3) 資金調達状況

平成25年度第3種生活交通路線維持費補助金として、江田島市バス運行対策費補助金交付要綱第34条の規定により、58,295,000円の補助金の額が平成25年7月16日に江田島市から決定されましたので、前期分として29,148,000円を平成25年10月4日に申請書を提出しました。

### 4) 対処すべき課題

中東の砂漠の真ん中での出来事が、遠く離れている日本のしかも島嶼部で田舎町のバス会社の経営や私たちの生活に大きく影響することを学ばなければなりません。

ユーロ圏や中東の政治不安に加え、日本にとって強力なパートナーである米国の様子が心配な状況です。米国内の企業は倒れないが、国家が倒れる可能性を取沙汰されてる向きもあるようです。米国は多国籍企業であってアメリカそのものではなく寄せ集めの州であり46州が赤字財政と言われております。米国が倒れればどこも助けられないが多国籍企業で持っている状況であると言われております。

今、日本はせっかくアベノミクスにより立ち直ろうとしているところですが、米国が不安定になれば弱いドルが売られて円買いが進み円高となり、また悪性のデフレに逆戻りが心配されており消費税増税された直後の大不況が心配されます。遠く離れた所の出来事は当然、江田島市にも影響し従前通りの船やバス運営に対する行政からの支援は益々厳しいものになると考えられます。

路線バス以外での増収を図る努力は、今後の生き残りには必須と考えます。

5) 財産及び損益の状況の推移

区 分	平成21年度 第23期	平成22年度 第24期	平成23年度 第25期(注1)	平成24年度 第26期
売上高	169,179,143	146,344,887	138,617,710	112,487,727
当期純利益	852,436	8,018,984	12,820,376	11,714,102
1株当り当期純利益金額 又は当期純損失金額	157	1,484	2,374	2,185
総資産	236,962,136	250,322,387	244,179,549	245,677,229
純資産	208,892,314	216,911,300	229,731,676	240,564,478

(注1)・・・海運部は期中の6ヶ月(平成24年3月31日)で撤退しています。

6) 主要な事業内容

当社は、マイクロバスまたは、バスによる一般貸切旅客自動車運送事業および一般乗合旅客自動車運送事業および江田島市教育委員会との契約締結によるスクールバス運行を主な事業としています。

部 門		事 業 内 容
バ ス 部 門	路線バス	・江田島市内13路線/26系統での旅客運送 (内、切串・秋月の2路線は休止中)
	貸切(一般)バス	・研修、レクリエーション、葬儀等の一般貸切
	スクールバス	・江田島市教育委員会との契約締結による貸切

7) 主要な事業所等

本 社 (広島県江田島市)

バス部 (広島県江田島市能美町中町4553-1)

8) 株式の状況

①発行可能株式総数 5,400株

②発行済株式の総数 5,400株

③株主数 4

④株主名

- ・江田島市
- ・江田島市企業局交通課
- ・株式会社広島銀行
- ・菱鹿運輸商事株式会社
- ・江田島バス株式会社(自己株式 40株)

9) 従業員の状況(平成25年9月30日現在)

バス部

	管理職	乗務員			事務員	合計
		社員	嘱託	派遣		
男性	2	11	9	0	0	22
女性	0	0	0	0	1	1
合計	2	11	9	0	1	23

10) 会社役員に関する事項

(1)取締役及び監査役の状況(平成25年9月30日現在)

地位	氏名	担当及び他の法人等の代表状況等
代表取締役	蓮田 勉	
常務取締役	山藤孝則	
取締役	吉岡克実	菱鹿運輸商事 株式会社 代表取締役社長
取締役	正井嘉明	江田島市副市長
監査役	丸田浩巳	株式会社 広島銀行 大柿支店長



## 株主総会参考書類

### 議案及び参考事項

#### 第1号議案 第26期計算書類承認の件

貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書、個別注記表の順に  
7頁以降に記載のとおりであります。

#### 第2号議案 取締役4名選任の件

取締役全員(4名)は、本会議の終結の時をもって任期満了となりますので  
取締役4名の選任をお願いしたいと存じます。

取締役候補は、次のとおりであります。

地 位	氏 名 (生年月日)	略 歴
代表取締役	蓮田 勉 (昭和22年11月14日)	平成20年1月 代表取締役 現在に至る
常務取締役	山藤 孝則 (昭和23年2月22日)	平成20年1月 常務取締役 現在に至る
取締役	吉岡 克実 (昭和22年6月24日)	平成13年6月 取締役 現在に至る
取締役	正井 嘉明 (昭和18年1月10日)	平成20年1月 取締役 現在に至る

#### 第3号議案 監査役(任期中)

監査役(1名)は、本会議の終結の時をもって任期満了となりますので  
監査役(1名)の選任をお願いしたいと存じます。

監査役候補は、次のとおりであります。

地 位	氏 名 (生年月日)	略 歴
監査役	丸田浩巳 (昭和35年8月15日)	平成23年10月 監査役に 選任されました

## 貸借対照表

平成25年9月30日現在

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
	円		円
【流動資産】	【 235,181,652】	【流動負債】	【 5,112,751】
現金及び預金	230,677,185	未払金	2,261,269
貯蔵品	212,800	源泉預り金	500,626
立替金	103,080	社保預り金	379,756
未収入金	4,213,315	預り金	62,000
貸倒引当金	△24,728	住民税預り金	258,100
【固定資産】	【 10,495,577】	未払法人税等	1,548,700
(有形固定資産)	( 9,686,415)	未払消費税等	102,300
建物	3,502,367		
建物附属設備	21,524	負債の部合計	5,112,751
構築物	2,192,198		
車輛運搬具	19	純資産の部	
工具器具備品	3,970,307	【株主資本】	【 240,564,478】
(無形固定資産)	( 491,502)	(資本金)	( 100,000,000)
ソフトウェア	491,502	資本金	100,000,000
(投資その他の資産)	( 317,660)	(資本剰余金)	( 170,000,000)
リサイクル預託金	317,660	資本金減少差益	170,000,000
		(利益剰余金)	( △28,555,522)
		繰越利益剰余金	△28,555,522
		(自己株式)	( △880,000)
		自己株式	△880,000
		純資産の部合計	240,564,478
資産の部合計	245,677,229	負債及び純資産の部合計	245,677,229

自平成24年10月1日  
至平成25年9月30日

## 損 益 計 算 書

科 目	金 額	円
【純 売 上 高】		
普通運賃	37,867,676	
定期運賃	24,091,990	
回数運賃	12,682,141	
貸切運賃	37,385,920	
広告料	460,000	112,487,727
売上総利益		( 112,487,727)
【販売費及び一般管理費】		160,985,248
営業損失		( 48,497,521)
【営業外収益】		
受取利息	48,831	
受取補助金	64,906,000	
雑収入	61,917	65,016,748
経常利益		( 16,519,227)
【特別利益】		
固定資産売却益	71,020	
貸倒引当金戻入益	21,864	
過年度損益修正益	216,000	308,884
税引前当期純利益		( 16,828,111)
法人税、住民税及び事業税		5,114,009
当期純利益		( 11,714,102)

自平成24年10月1日  
至平成25年9月30日

## 販売費及び一般管理費

科 目	金 額	円
図 書 印 刷 費	354,251	
軽 油 費	16,231,472	
役 員 報 酬	6,504,000	
給 料 手 当	48,720,820	
賞 与	16,461,902	
退 職 金 共 済	1,350,000	
諸 手 当	9,331,400	
時 間 外 手 当	14,093,856	
法 定 福 利 費	13,950,170	
厚 生 費	474,010	
減 価 償 却 費	13,037,525	
施 設 使 用 料	307,400	
修 繕 費	7,986,340	
消 耗 品 費	1,222,718	
水 道 光 熱 費	594,593	
旅 費 交 通 費	762,292	
手 数 料	2,290,880	
租 税 公 課	1,224,700	
交 際 接 待 費	95,643	
保 險 料	3,724,090	
通 信 費	373,145	
負 担 金	308,696	
貸 切 旅 費	273,409	
貸倒引当金繰入額	24,728	
税 理 士 報 酬	695,000	
被 服 費	87,586	
会 議 費	3,200	
油 脂 費	48,000	
ガ ソ リ ン 代	242,728	
雑 費	210,696	
販売費及び一般管理費		( 160,985,248)

## 株主資本等変動計算書

自平成24年10月1日至平成25年9月30日 単位 円

	株主資本							純資産合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		自己株式	株主資本合計	
		資本金減少差益	資本剰余金合計	その他利益剰余金繰越利益剰余金	利益剰余金合計			
当期首残高	100,000,000	170,000,000	170,000,000	△40,269,624	△40,269,624		229,730,376	229,730,376
当期変動額								
当期純損益金				11,714,102	11,714,102		11,714,102	11,714,102
自己株式の取得						△880,000	△880,000	△880,000
当期変動額合計				11,714,102	11,714,102	△880,000	10,834,102	10,834,102
当期末残高	100,000,000	170,000,000	170,000,000	△28,555,522	△28,555,522	△880,000	240,564,478	240,564,478

個 別 注 記 表

自 平成 24 年 10 月 1 日  
至 平成 25 年 9 月 30 日

I. 重要な会計方針に係る事項に関する注記	
固定資産の減価償却の方法	
有形固定資産	建物：法人税法の規定による定額法 建物以外：法人税法の規定による定率法
無形固定資産	法人税法の規定による定額法
引当金の計上基準	
法人税法の規定による法定繰入率により計上	
II. 貸借対照表に関する注記	
有形固定資産の減価償却累計額	267,984,590円
消費税及び地方消費税の会計処理	
消費税等の会計処理は、税抜方式によっています。	
III. 株主資本等変動計算書に関する注記	
発行済株式の種類及び総数に関する事項	
発行済株式	
普通株式（発行済株式）	
前期末株式数（発行済普通株式）	5,400株
当期末株式数（発行済普通株式）	5,400株
自己株式の種類及び株式数に関する事項	
自己株式（種類及び株式数）	
普通株式（自己株式）	
前期末株式数（自己株式）	0株
当期増加株式数（自己株式）	40株
当期末株式数（自己株式）	40株
IV. 1株当たり情報に関する注記	
1株当たりの純資産額	44,881円
1株当たりの当期純利益金額又は当期純損失金額	2,185円

## 平成25年度(第27期)

# 事業計画書

【平成25年10月1日～平成26年9月30日】

1. はじめに
2. 会社概要
3. 主な事業内容
4. 平成21年度から平成25年度損益の推移と計画
5. 平成21年度から平成25年度売上と従業員の推移と計画
6. 総括

平成25年12月

江田島バス株式会社

## 1. はじめに

路線バスは、通勤、通学、通院、買い物等の地域住民の日常生活を支える公共機関として重要な役割を果たしてきていますが路線バス事業はマイカーの普及、自転車の利用の進展や渋滞等走行環境の悪化等により、昭和40年代半ばをピークに利用者は減少しており現在90%の路線バス事業者が経常赤字という厳しい経営状況が続いています。

しかしながら、路線バスは、引き続き地域住民の日常生活を支える交通手段としての役割を果たすことを期待されています。地方や過疎地域を中心に路線バスが営利サービスとして成り立たなくなっている現状から生活交通を全体としてどのように確保していくかが大きな課題となります。生活交通としての役割が精一杯の路線バス運行に対して移動手段以外のどのようなサービスが可能であるか、初期の利用目的が達成できれば良しとするか、それとも、今、以上の快適性の向上や運行回数の豊富なダイヤなどを求めるか、今後の運営は路線バスそのものの存在の有無まで至る考えをめぐらせておきたいと思えます。

## 2. 会社概要(平成25年11月22日現在)

社名	江田島バス株式会社
代表者	蓮田 勉
創立年月日	昭和62年(1987年)12月7日
本社所在地	〒737-2301 広島県江田島市能美町中町4553-1
資本金	100,000,000円(資本剰余金:170,000,000円)
株主	江田島市 江田島市企業局交通課 株式会社 広島銀行 菱鹿運輸商事株式会社
営業内容	路線バス(一般乗合旅客自動車運送事業) 貸切バス(一般貸切旅客自動車運送事業) 貸切バス(スクールバス)



沿革

創立:昭和62年12月7日

路線バス:昭和63年3月7日 旅客自動車運送事業  
昭和63年4月8日 営業開始

国内旅行業:昭和63年9月26日 平成19年4月廃止

回漕業務:平成2年4月1日 能美バス(株)海運部として発足

観光バス:平成2年6月26日 一般貸切旅客自動車運送事業  
平成2年8月6日 営業開始

社名変更:江田島バス株式会社 平成20年4月1日

### 3. 主な事業内容

当社は、マイクロバスまたはバスによる一般乗合旅客自動車運送事業、一般貸切旅客自動車運送事業および車両内外への広告などを事業としています。

事業内容	
路線バス	・江田島市内26系統での旅客運送 ・車両内外への広告
貸切(一般)バス	・研修、レクレーション、葬儀等の一般貸切
スクールバス	・江田島市教育委員会との契約締結による貸切

### 4. 平成21年度から平成24年度損益の推移と平成25年度計画(円)

	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度(計画)
路線バス	94,882,991	89,644,212	82,274,693	74,865,655	75,000,000
貸切(一般)	14,926,092	13,185,172	9,091,387	11,836,592	15,000,000
スクールバス	17,418,000	17,850,000	22,704,289	25,609,500	26,000,000
広告料	666,000	584,953	625,000	460,000	500,000
回漕	37,609,031	21,928,455	22,666,959	—	—
売店	3,677,029	3,152,095	1,255,382	—	—
総売上額	169,179,143	146,344,887	138,617,710	112,771,747	116,500,000
			注3	注1	注2
売上原価	2,827,368	1,877,876	956,587	—	—
労務費	140,593,365	138,860,202	104,874,316	96,462,000	96,000,000
バス・海運部 (役員報酬)	(6,504,000)	(6,504,000)	18,959,096 (6,504,000)	(6,504,000)	(6,504,000)
販売費及び 一般管理費	85,391,490	61,103,937	65,928,665	64,636,000	63,000,000
バス・海運部					

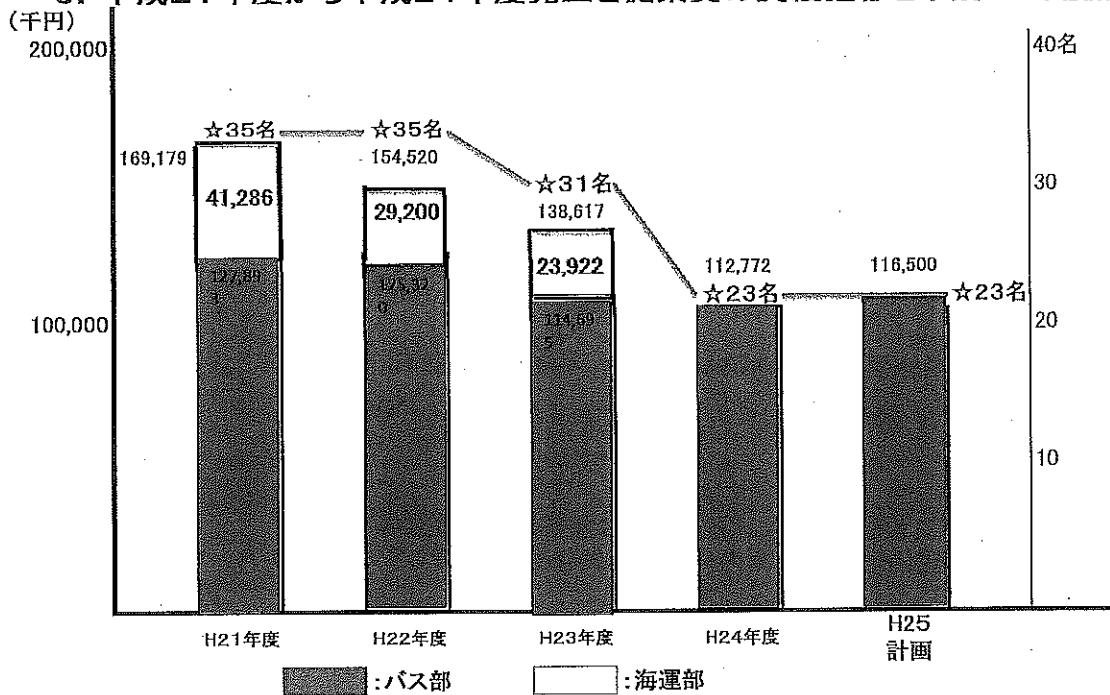
H24年度(第26期)の経費は新車7台(H20購入)の減価償却費と平成21年度に購入した新車1台の減価償却費を合わせた12,717,122円を含む。

注1…海運部を、平成24年3月31日で事業から撤収した決算となっています。

注2…バス事業のみの計画になります。

注3…H23年度回漕収入には前期の補てん金(フェリー廃止後の減額分)の11,932千円が入金されています。

## 5. 平成21年度から平成24年度売上と従業員の実績推移と平成25年度計画



## 6. 総括

路線バス利用者数が増加すれば国・県・市にかかる負担も軽減されるのですが、人口減やマイカーの普及などで乗合バス事業は生活交通としての役割はあるものの経営的には厳しい状況に至っています。

東日本大震災発生(H23. 3. 11)の3日前に閣議決定され内閣提出法案として衆議院に提出された交通基本法は廃案となったが、第2次安倍内閣では再提出を検討する考えもあるようです。この法律で交通問題が一気に解決されるものではないが、問題を解決しようとする場合の取り組みの方向性を示す『モノサシ』を法律という形で国が示すものにはなると思います。人の移動、物の移動や地域を移動する手段の確保など多種多様な活動範囲を対象としており、まずは法案の成立が待たれます。

13年前には、民間事業者の自由競争を促進することでサービスが効率的かつ多様な形で提供されることを求め需給調整規制廃止という規制緩和がされましたが、最近になって政府の意図通り事は運ばれていないようです。新規参入者の増加により競争が激化し事業内容が悪化し経費の節減や労働条件の悪化等による安全性の低下などにより結果的に利用者が不利益を被ることとなっています。この現象は特に貸切バスで顕著に見られており、最近では受注から契約までの流れのあり方やタクシー台数の制限などの見直しがされています。こうした中で、交通基本法の制定に向けた視点として21世紀の社会と交通の課題では、全国的には高齢ドライバーの安全性の問題など様々あるが中でも高齢化も含め地域公共交通は離島地域の通勤・通学や高次医療施設への搬送等にも不便をきたし、交通事業者の経営状態は極めて厳しく『事業者任せ』では立ち行かなくなっている状況が殆どであります。

平成24年度(H24.10.1~H25. 9.30)の実績では、路線バスの運賃収入の減少は毎年の傾向であり人口の減少や車社会などバス離れに対し有効な歯止めが掛けにくい状況であります。

市内でも江田島北部、沖美北部および沖美南部では路線バスの休止や減便に至っておりデマンドタクシーとの役割分担で生活交通の空白を埋めています。路線バスの休止や減便は運賃収入の減少であり補助金のカットであり、経営の見通しは不透明である。

路線バスとしての使命は認識しつつも、従業員への経営責任も重要であり存続への使命もあります。

そうした中での貸切バスへの依存は高く、高齢化や地理的課題などをかかえた背景などで、利用者の貸切バスの活用は多様化しており、対応可能な施策をめぐらすことが必要と考えます。

大勢での行動で大型(中型)車両の保有傾向であったが10人以下の小型車両での機動性のある運行の可能性も検討が必要と考えています。

常に、利用者の視点に位置した路線バスや貸切バスの運営を心がけていきたいと考えています。

以上